

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和元年度

市町村名	幸手市					
提案事業名	幸手駅橋上駅舎及び東西自由通路完成記念魅力発信事業					
事業期間	H30年度		～	H30年度		
成果指標	(成果を検証する指標) 新幸手駅が誇らしいと思える市民の役割					
	(成果検証の具体的な方法) 記念事業に参加する者のアンケートの実施					
	(成果の目標値に対する実績)			達成度	(A) B C	
	従前値 (年 月時点)		目標値 (31年3月時点)	90%	実績値 (令和元年6月時点)	95%
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)		稼働率 (%)	(目標) (実績)	
住民への公表状況 及び特記事項		市ホームページ				

【事業効果の整理・原因分析】

平成30年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 幸手駅橋上駅舎及び東西自由通路完成記念魅力発信事業	○	記念事業を開催したことにより、市民の念願であった新たに生まれ変わった幸手市の玄関口を市を挙げて記念することが出来た。その結果、郷土愛の醸成と新たな個性、にぎわい、交流の場の創出が出来た。市内外の者に幸手駅を評価してもらう機会ができ、記念事業の開催により市民の深い記憶にとどめることが出来た。
②	○ △ ×	
③	○ △ ×	
④	○ △ ×	
⑤	○ △ ×	
⑥	○ △ ×	

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	記念事業を実施することで、事業に参加したものに各種記念行事への参加、木工体験、階段アートや「幸せの予感モニュメント」の体感を通じて、新しい駅舎、新たな個性、利便性をアピールできた。
実施事業について 成果が不十分である点	記念式典出席以外の方からの「記念式典パンフレットがほしい」という声を多くいただき、パンフレットの在庫が早々に無くなった。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	幸手市民の長年の念願であった新幸手駅舎と東西自由通路が完成したことで市民の利便性が増し活力が生まれた。この活力を今後の発展に生かすべく継続した維持管理を進めていく。